



「祈りの年」のお知らせ

2017年11月13日

学校長の皆様、世界中の AMASC 会員国会長の皆様

既に聖心会員のお仲間や友人方からお聞き及びかもしれませんが、フィリピン・デュシェーン 200 周年を祝う「祈りの年」は一週間後に始まります。2017年11月20日から2018年11月19日までの毎月曜日、世界中の聖心家族は祈りと黙想の内に一つに結ばれるでしょう。地域別コーディネーターを務める4人の聖心会員、フランスのフランスワーズ・グレフ、カナダのキム・キング、ウガンダのエリザベス・ナカイザと韓国のパク・ジョンミによって集められた Reflections (省察) には、私たちの活動の場となっているほとんどの国が含まれています。これらの Reflections (省察) の主題は友情、苦悩、喪失、境界、不屈 (忍耐)、希望と、大勢の作り手たちの持つ多様な背景と同じように様々です。その形態には散文や韻文、祈りも含まれ、一つひとつに何らかの画像が添えられています。

シスターバーバラ・ドーソンと総顧問会は全ての聖心家族を、一つの体となり一つの体として行動し、静けさの空間を作り出して神の鼓動に耳を傾け、祈りの年の一員となるようにと招かれました。「いつも祈っている女性」と親しみを込めて呼ばれていたフィリピン・デュシェーンにとって、何と素晴らしいお祝いでしょう。

フィリピンは journal (日誌) をつけていましたが、この習慣は心の奥底の感情の動きに、より一層注意深くなるための霊的修練となりました。「祈りの年」の始まる一週間ほど前には、RSCJ.org に、希望者がダウンロードすることもオンラインで書き込むこともできる PDF の日誌が載る予定です。地理上の境界線を越えて、意見、理解や洞察の交換を可能にするために、世界中でソーシャルメディア (SNS) の使用をお勧めします。

全ての聖心家族を結び連携することができますように、どうかお助け下さい。毎週新しい Reflection (省察) は rscj.org と rscjinternational.org の二つのウェブサイトに掲載され、一人でも多くのメールアドレスの確認できる学校長と AMASC 所属会員国会長の皆様に、Eメールでお送りします。受け取られましたら、可能であればさらにその先に連なる理事会メンバー、教職員、学生生徒、父母、同窓会会員


などへの転送をお願いします。各管区の管区長にも同じように、聖心会員、教会活動の同僚、アソシエート、マリア会会員、友人等々への転送をお願いしました。皆様のウェブサイトにも掲載していただければ幸いです。

更に、今回の200周年記念のお祝いをより豊かなものとするために、200周年ウェブサイト (RSCJ.org/bicentennial2018) を探索し、掲載されている関連イベント情報や、短いフィリピンの伝記、画像、音楽、巡礼の旅の紹介などの数々の資料を発掘することをお勧めします。

この度の「祈りの年」を、私たち一同にとっての恵みの時とするために力をお貸しください、心からお礼を申し上げます。

200周年委員会の名において、

感謝と共に、



Kathleen Hughes RSCJ

The Bicentennial Committee:

Hilda Adams, Linda Behrens, Donna Collins, RSCJ, Jan Dunn, RSCJ, Charla Dziedzic, Maureen Glavin, RSCJ, Sheila Hammond, RSCJ, Bill Hobbs, Kathleen Hughes, RSCJ, Catherine Howard, Maggie Kaspura, Michael Pera, Pam Schaeffer